

#### 第4問

- (2) 当工場は個別原価計算を採用し、賃金・給料に関する取引について、月末に普通仕訳帳に合計仕訳し、労務費勘定に転記している。当月の直接工の総就業時間の内訳は、直接作業時間 2,400 時間、間接作業時間 100 時間、手待時間 20 時間であった。当工場の適用する予定総平均賃率は 1,400 円である。また、間接工について、前月賃金未払高 500,000 円、当月賃金支払高 1,800,000 円、当月賃金未払高 200,000 円であった。

製造間接費は直接作業時間を配賦基準として、各製造指図書に予定配賦している。製造間接費の年間予算額は 31,680,000 円、年間の予定総直接作業時間は 26,400 時間である。

上記について、答案用紙の各勘定の（ ）内に適切な金額を記入しなさい。